

企業誘致、工業団地造成について

保科善一郎



〔質問〕私は工業団地の先行的造成を主張してきたが、市民の意見も地域振興に必要であるとの認識が強く、先行的造成で強力に推進すべきとの意見が多くある。

人口減少・超高齢化という直面する大きな問題に対し、地域の特徴を生かした持続可能な社会を創生することを目指し、活力ある地域社会を維持するための方策として工業団地の先行的造成を探究することが課題と考える。市長の施政方針では「企業誘致は、産業の振興や雇用の確保を図るため、今後も企業立地

セミナーに参加するなど市長自らさまざまな機会をとらえトップセールスを行い、関係機関と連携して企業誘致活動を積極的に行うとともに、市内立地企業への訪問活動を行い、よりよい関係構築を図ります。また、企業の要望などを踏まえ、新たな工業団地の造成に向けて検討を開始します」とある。

〔答弁〕「企業立地定住促進課長」企業誘致活動については、市内立地企業と良好な関係を結ぶとともに新たに本市に興味を持っていただくよう、企業立地セミナーへの参加や企業訪問を行なっている。

企業立地セミナーの昨年の実績は、東京セミナーで21社・30人、名古屋セミナーで17社・22人であった。

また、昨年の市内立地企業への訪問件数は延べ17件、上京などをした際の訪問件数は10件となっている。

〔質問〕工業団地造成について、現在の進捗状況を伺う。

〔答弁〕「市長」進捗状況については、現在本市で造成している工業団地はない。

スマートインターチェンジの一体整備のなかで工業団地整備も必要であると考えているが、工業団地はつくれば良いというものではなく、企業が注目する立地環境や条件の整備が重要となるという認識である。

【その他の質問】

◎白石城の景観整備について

◎地方創生総合戦略について

白石市公共施設等総合管理計画について

松野久郎



〔質問〕公共施設等の全庁的な体制の構築及び公共施設等を二元管理する組織設置の取り組み状況を伺う。

〔答弁〕「財政課長」公共施設等総合管理計画策定検討委員会を設置し、具体的な方向性を令和2年度に向けて作業を進めている。

〔質問〕施設の総量、施設管理の適正化の策定状況を伺う。

〔答弁〕「財政課長」施設の総量や市の人口動態、個々の利用状況を踏まえ、長寿命化または、複合化、集約化、用途の転用、廃止などの作業を進めている。

〔質問〕現在、使用を中止している施設等について、維持管理費を払い続けていくことを回避するため、他県においてはマイナス入札をした事例もあるが、所見を伺う。

〔答弁〕「市長」個別計画をしっかりと作り、それを国に認めていただいた後に、起債などさまざまな手法を考えていきたい。

◎白石市第一幼稚園の休園について

〔質問〕休園することを決断するまでのプロセスと理由を伺う。

〔答弁〕「教育長」少子化に伴い園児が減少している中、幼児教育をより充実させることが第一の理由である。

加えて、保育ニーズの変化も大きな要因であり、一園にすることで、保護者の保育ニーズに少

しても応えることができるかと考え、休園を決定した。

〔質問〕早い時期に保護者会などを開き、検討する必要があるのではないか。

〔答弁〕「教育長」休園という選択を行なった後、単に一園を残すのではなく、無償化に伴った付加価値を付けるための検討や調整を行っていた。

そのため、この時期になってしまったという経緯がある。

〔質問〕今後、保護者や市民へどのように説明していくのか伺う。

〔答弁〕「教育長」保護者の意見を踏まえ、休園に向けての課題を把握し、解決への取り組みを行なっていく。

両園との関わり深い自治会長には趣旨を説明しており、市民一般に向けた説明は現在、想定していない。

◎消費税増税について